



まちのできごと

3/7 風の子児童センターおかし作り 手作りおかしでニコニコ

この日、児童センターで「おかし作り」が開催されました。15人の児童が参加し、チョコレートを使ったロリポップやチョコバナナを手作りしました。児童たちはやけどなどに気をつけながら湯煎したチョコを手際よくコーティングし、チョコスプレーなどで飾り付けをしたオリジナルのお菓子を上手に作りました。参加した児童は「簡単にできて面白かった」「美味しかったからまた作りたい」と満足そうな笑みを浮かべていました。



↑綺麗にチョコレートをコーティングする児童

3/19 風の子児童センター6年生を送る会 最後まで楽しい思い出に

中学校に進学する6年生を送り出す「6年生を送る会」が児童センターで行われ、多くの子どもたちが集まりました。会では、チームに分かれてビンゴが揃ったチームからお菓子を選びに行く、チーム対抗ビンゴ大会が行われ、数字の一つ一つに児童たちは一喜一憂をしていました。最後に、獲得したお菓子を食べておしゃべりを楽しみ、児童センターで6年生と遊ぶ最後の機会に、児童たちは大いに楽しんでいました。



↑好きなお菓子を選ぶ児童



↑作品を持つ笑顔の鈴木日葵さん

3/9 海上保安庁図画コンクール 沢木のきれいな海

海上保安庁主催の未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクールの第一管区（北海道全域を担当）の優秀作品が発表されました。オホーツク管内10作品の中から、鈴木日葵さん（沢木小3年）の「沢木のきれいな海」が海上保安協会紋別支部長賞を受賞。鈴木さんは「賞がとれると思わなくてびっくりしたけど、受賞することができて嬉しかったです」と笑顔で受賞の喜びを話してくれました。



↑真剣な表情で技の練習をする児童

3/19 一輪車講習会 技のステップアップへ

一輪車の技術向上のため、児童センターで講習会が行われました。講師として「紋別一輪車キッズ」のメンバー7人が来町し、一輪車の乗り方や姿勢、演技の振り付けのコツなどを一人ひとりのレベルに合わせて指導。参加した児童たちは、自身の技術向上のために真剣な表情で練習に取り組んでいました。



↑認定証を手にする大井龍兵氏（左）、横石透氏（中央）、千田真一氏（右）

3/18 北海道指導農業士および北海道農業士 称号贈呈式 町内農業者3人が認定

北海道では、農業の発展と地域社会の活性化を図ることを目的に、農業研修者の受入れなどを通じた次代の担い手の育成・指導に係る役割を期待する農業者を「北海道指導農業士」、また、若手農業者の牽引役である地域の役割を期待する農業者を「北海道農業士」として認定しており、この度、「北海道指導農業士」に横石透氏と千田真一氏、「北海道農業士」に大井龍兵氏の3人が認定され、北オホーツク農業協同組合において、同組合代表理事組合長吉田隆好氏から認定証が贈呈されました。今回、指導農業士に認定された横石透氏は「現在、農業が抱えているさまざまな課題解決に取り組んでいきたい。特に昨年の4月に興部町で建設された新規就農者研修施設からの受入れ先の確保に努めていきたい」と抱負について話されました。

3/19 たけのこキッズ発表会 成長した姿を披露

小学校1年生で構成された、たけのこキッズの一輪車の発表会が、児童センターで行われました。子どもたちは、今まで練習してきた成果を遺憾なく発揮し、一輪車に乗りながら手をつないで回るメリーゴーランドなどの技を綺麗にきめました。このほかに、風の子キッズや、同日開催されていた一輪車講習に講師として来町していた紋別一輪車キッズのメンバーによる演舞も披露され、会場は大いに盛り上がり、感動の拍手に満たされました。



↑メリーゴーランドに挑戦するたけのこキッズ



↑保育証書を受け取る園児

3/25 若草保育所退所式 大きくなったよ

若草保育所で退所式が挙行政され、23人の園児が退所しました。保護者に見守られる中、式が始まると園児たちは緊張した面持ちで入場。保育証書授与では、名前を呼ばれた園児たちは元気よく返事をし、保育所長から保育証書を受け取ると「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えていました。

式の最後にスーツや袴、着物などに袖を通した園児たちが保護者や職員へ感謝の言葉を贈る姿は、たくましく、いつもよりも大人びて見えました。